

令和4年度 第3回 三ヶ日西小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月10日（金）13時30分～15時30分まで
- 2 場 所 浜松市立三ヶ日西小学校 会議室
- 3 出席委員 河合 成典、藤山美恵子、井口 尚子、太田 積久、井口 智博、伊藤 暢洋
- 4 欠席委員 山下 文男、外山 浩史
- 5 オブザーバー 高野 一幸（三ヶ日協働センター職員）
- 6 学校支援コーディネーター 佐藤 隆
- 7 学 校 宮田 真由美（校長）、内山 忠久（教頭）、木下 史郎（生徒指導）、竹内 淳（教務主任）、山田 雅美（CSディレクター）

8 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 授業参観から
- (3) 今年度の成果と課題
 - ①学校関係者評価
 - ・学校評価の分析
 - ・次年度の基本方針、教育課程について
 - ②来年度の学校運営の基本方針の説明と承認
- (4) 学校運営協議会の自己評価
 - ・学校運営協議会の取組についての振り返り

9 会議録作成者 CSディレクター 山田 雅美

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会の教頭から、議長の選出について、佐藤委員を推挙する発言があり、全員意義なくこれを承認した。

(2) 授業参観から

議長より授業参観をした感想を求めたところ、委員より以下の発言があった。

- ・掃除の時間、一生懸命頑張っていた。6年生を中心に真剣に取り組んでいた。

（藤山委員）

- ・以前参観した時より落ち着いて授業に取り組んでいた。特に1年生は成長が見られた。なかよしのクラスも合同で活動していたが、落ち着いていた。（佐藤委員）
- ・前回も感じていたが、タブレット等のICT機器の活用が進んでいる。学習発表会もパワーポイントを子供たちが自分で操作していた。昔は先生がやっていた。授業でのグループ発表でも、子供がタブレット操作をし、発表していた。使い方が上手で、子供たちもメリハリのある使い方ができていて楽しそうだった。（河合委員）
- ・図工では糸鋸を使って作業していたが、子供たちは自分で刃を取り付けて頑張っていた。作る物もみんなが同じではなく、それぞれ個性が生かされていて良いと思った。（河合委員）
- ・算数の苦手な児童が多いように感じる。授業中も集中力が途切れてしまっている子もい

る。中学校へ行って、数学で困ってしまうのではないか。（河合委員）

- ・先生方が子供たちに向けて明確に内容を説明していた。6年生は東京と自分たちの町を比べる授業をしていたが、内容を見てみたいと思った。（藤山委員）
- ・タブレットを積極的に活用しており、時代に即した授業だと思う。（井口智委員）
- ・どこの教室も極端に授業からかけ離れた行動をしている子はいない。シーンとしている感じでもなく良い雰囲気の中、授業が行われていた。（伊藤委員）
- ・タブレットの使用に関して、SNSの危険性をしっかり教えていかないといけないと思う。保護者に対しても同様。（伊藤委員）
- ・授業参観を初めてした。とても和やかな雰囲気の中で授業が行われていた。良いか悪いかは別として、先生と生徒の距離が縮まっている。（太田委員）
- ・今どき、答えを教えることは簡単だが、過程を教える事が大事だと思う。（太田委員）
- ・今の先生と生徒は一体化している。（井口尚委員）
- ・発表の声が小さいことが気になったが、自分の意見なので不正解はないのだから、もっとアピールしてよい。（井口尚委員）
- ・2年生の算数では、千より大きい数をやっていたが、個人個人それぞれの考え方を説明できることが素晴らしい。教え込まれるのではなく、自分で考えることが大切である。みんな同じ考えではなく、認め合えることが素晴らしい。（井口尚委員）
- ・みんな英語に興味津々で発音が上手である。世界に羽ばたいてほしい。他の勉強に苦手を感じている子でも、体を動かす英語等で自信を持って欲しい。（井口尚委員）
- ・個にあった学習の仕方が大切（必要）だと思う。（佐藤委員）

(3) 今年度の成果と課題

①学校関係者評価

- ・学校評価の分析
- ・次年度の基本方針、教育課程について
議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、学校関係者評価について説明があり、委員から以下の発言があった。
- ・キャリア教育についてなかなか周知できない。総会等で説明していく必要がある。（佐藤委員）
- ・危機管理について、登下校時の見守りとあるが、朝の登校時は見守りができるが、下校は時間がまちまちで見守りが難しい。（河合委員）
- ・近所の方々も気にかけてくれるが、考えていかないといけない。（校長）
- ・下校の時間はバラバラなので難しい。（佐藤委員）
- ・小学校では、社会性を育てていくことが大切だと思う。保護者との価値観の違いがあると思うが、個性と社会性のバランスを大切にしていってほしい。（井口尚委員）
- ・面談等で保護者の意見も聞いていきたいと思う。（校長）
- ・日本は学校に頼りすぎている。海外は学校の出来事は学校の責任、家のことは家の責任が当たり前。（佐藤委員）

②来年度の学校運営の基本方針の説明と承認

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき来年度の学校運営の基本方針について説明があり、協議の結果全員意義なくこれを承認した。

(4) 学校運営協議会の自己評価

議長より学校運営協議会の自己評価について意見を求めたところ、以下の発言があった。

<1>学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・今の子どもたちに合った分かり易いグランドデザインで、校長先生の丁寧な説明のおかげで十分に熟議することができた。(佐藤委員)

<2>学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・今年度もコロナ禍で思う様にならないことが多かったと思う。5類移行後は、今まで通りとはいかなくても、可能な限り支えて行きたいと思う。(佐藤委員)

- ・何をしたらいいのかわからないので学校から要望を伝えてくれるといいと思う。

(藤山委員)

- ・昔の遊び等でお年寄りを呼んだりすることがあった。そういう行事を少しずつでも増やしていけたらいいと思う。(佐藤委員)

- ・SNSの危険性を子どもたちや保護者対象に知らせ、安全な使い方を学ぶべきだと思う。自分の写真を送って拡散してしまう等の話を聞くことがある。三ヶ日の子は素直で純粋なので、犯罪に巻き込まれてしまう恐れがある。道徳等で教えてあげないと、いつの間にかという事もある。専門家の講演をお願いしたいと思う。(河合委員)

<3>今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・創立150周年に向けての取組
- ・SNSの使い方
- ・教育の在り方

11 その他連絡事項

- ・令和5年度CS学校運営協議会委員推薦について校長より説明があった。
- ・令和5年度第1回学校運営協議会を令和5年4月27日(木)13:30から三ヶ日西小学校会議室で行う旨の報告があった。
- ・教頭より夢育やらまいかCS加算分の報告があった。
- ・創立150周年記念事業について教頭より、実行委員、記念式典についての説明があった。